

全校のみんなで作る'卒業式'に！

卒業式がいよいよ一週間後にせまってきました。一昨日から在校生の卒業式練習が始まりました。練習のはじめには、4・5年生の代表が「今日のみんあて」を全校のみんなに示します。一人一人が「めあて意識」をもって、「①正しい立ち方・座り方・礼の仕方を覚えよう、②大きな声で呼びかけをしよう、③はっきりとした言葉で歌おう」を目指して取り組みます。大きな目標は、「6年生に感謝の気持ちが伝わるように」ということです。練習の終わりには、一人一人が挙手をして自己評価をし、4・5年生の代表が「今日のまとめ」をみんなに伝え、「次の練習」へとつなげていきます。このように、学校の最も大切な行事である卒業式を6年生との最高の思い出にしようと全校で張り切っています。

また、今年、本校の卒業生でもある S. さん（6年生の Y. さんのお姉さん）からのお申し出があり、ピアノ演奏をお願いすることになりました。生演奏に支えられた歌の練習も一昨日から始まり、気持ちも高まってきました。残すところ一週間。39人全員で6年生の卒業を祝うことができるよう、ご家庭でも健康管理をよろしくお願いいたします。



ピアノ伴奏協力者： S. さん



今まで本当にありがとう！

(3/5：6年生ありがとうの会)



進行を務める5年生



「わたしはだれでしょう？」クイズ



プレゼントタイム

4・5年生を中心に準備を進めてきた『6年生ありがとうの会』が、5日なかよしホールで行われました。「わたしはだれでしょう？」クイズでは、6年生の小さい頃の写真を見ながら成長してきた様子を思い浮かべることができました。①目標にしているのは？ ②生まれ変わったら？ ③100万円あったら？ ④チャームポイントは？ ⑤好きな色は？ ⑥6年間の一番の思い出は？ などのヒントをもとにみんなで考え、みんなで盛り上がりました。

ゲームタイムでは『おもしろ文作りゲーム』『フルーツバスケット』を楽しみました。『おもしろ文作りゲーム』では、「①いつ」「②どこで」「③だれが」「④どうした」について、4つずつの班で2組に分かれ、それぞれ分担して考え、合わせて1つの文を作ります。例題は、「6時間目に、体育館で、校長先生が、ひらがなの練習をした。」という文でした。役割を交代しながら4回戦まで楽しみました。続いて行った『フルーツバスケット』では、「黒い服を着ている人」「全県大会に行ったことがある人」「髪の毛をつないでいる人」など、自分がオニになるのを楽しみながら、何回も何回も楽しんでいました。途中で「校長先生が好きな人」というドッキリする場面もありましたが、一瞬シーンとした後、数人が立ち上がって移動してくれたのでホッと胸をなで下ろしました。「ここ空いているよ。」と下級生に声をかけたり、座る直前に転ぶ演技をして下級生に席をゆずったりするほほえましい場面も数多く見られました。そして、プレゼント交換。6年生からは、修学旅行クイズ、色紙がお返しとして在校生に送られました。笑顔がはじけ、心温まる時間をみんなで共有することができました。

この日のために、企画・準備・運営に携わった4・5年生。どちらも「自分たちがやる番だ！」という中川小学校の新リーダーとしての意欲が感じられました。特に5年生は、卒業式や修了式に向かうこの時期が、最高学年への大きな関門です。5年生のさらなるがんばりと成長が楽しみです。



3. 11 教訓を生かして

平成23年3月11日午後2時46分、私は校務員さんと二人、体育館で卒業式の準備をしていました。突然、地鳴りのような音とともに照明器具やバスケットボードが揺れはじめ、思わずその場にしゃがみ込みました。大きな揺れがおさまりかけたので外に出ると、再び大きな揺れが…。地面が大きくうねるのを目の当たりにし、体の震えがおさまらなかったのを昨日のこのように覚えています。

地震、津波、原発事故とあり得ない災害が重なった東日本大震災。今なお避難生活を送る方もおり、被災地の復興も未だ道半ばといったところ。その後も、他地域での災害も続くなど、災害はいつも予告なしにやってきます。秋田沖地震の5月26日とともにこの「3. 11」を、教訓を生かして防災意識を高め、いざという時の行動や家庭の防災マニュアルを確認する機会にしていきたいものです。